

会 告

農業土木学会誌の愛称が「水土の知」となります！	100
第23回海外事情講演会「中国の農村整備（村鎮建設）の現状と今後の展開」	100
第1回産学連携推進セミナーへの参加募集	100
土地改良事業計画設計基準・設計「ポンプ場」の発行について	101
農業土木学会災害対応調査団専門別調査団員登録についてお願い	101
学会誌掲載報文等による通信教育の本格運用について	102
国際学会「国際水田・水環境工学会」入会のご願いと国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」について	102
国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」への投稿のご願いと編集事務局（投稿先）の韓国移転のお知らせ	103
農業土木学会誌への投稿お待ちしております！	104
農業土木学会北海道支部第33回研修会の開催について（第3報）	104
農業土木学会北海道支部講習会の開催について（第1報）	105
平成18年度農業土木学会京都支部研修会・地方講習会の開催について	105
平成18年度農業水利研究部会研究集会開催のご案内（第2報）	106
第44回材料施工研究部会シンポジウムの開催について（第1報）	106
学会記事	107

農業土木学会行事の計画

農業土木学会行事について、下表のように計画しています。奮って参加下さるよう、お待ちいたしております。

のマークが付されているものは農業土木技術者継続教育認定プログラム、または認定申請中を表しています。

開催日	主催	行事名	テーマ	開催場所	掲載号
平成18年12月 4-5日	応用水理研究部会	平成18年度講演会	農業土木分野における応用水理学に関する研究	岐阜大学	74巻10号
平成18年12月 9日	農業水利研究部会	平成18年度研究集会	農業用水及び環境用水の冬季通水と農業・農村環境	東京都航空会館	74巻10号
平成18年12月 11日	国際委員会（共催）	第23回海外事情講演会	中国の農村整備（村鎮建設）の現状と今後の展開	農業土木会館	74巻11号
平成18年12月 18日	行事企画委員会	第1回産学連携推進セミナー		農業土木会館	74巻11号
平成19年2月 1日	北海道支部	講習会	「環境との調和に配慮した事業実施のための調査計画・設計の技術指針」の解説等	札幌市北大学術交流会館	74巻11号
平成19年2月 (予定)	材料施工研究部会	第44回シンポジウム	構造物の損傷に関する非破壊探査（予定）	兵庫県神戸市（予定）	
平成19年3月	水土文化研究部会	シンポジウム	水土文化研究の現在（仮題）	つくば農林団地（予定）	

第74巻12号予定

展望：限りなく潤い輝け斜網地域 国営畑地帯総合土地改良パイロット事業の完了に思う」：河合 淳

小特集：北海道の大規模畑地整備

北海道の大規模畑地整備：大澤 賢修他

斜網地域における大規模畑地灌漑システムの探求：上田 正勝他

斜網地域における大規模畑地灌漑システムの構築：上田 正勝他

斜網地域の大規模畑地整備とその評価：川口 清美他

技術リポート

北海道支部：農村環境計画における留意点：伊藤 恒夫他

東北支部：岩沢ダム建設工事に係るヘイケボタル保全対策の取組：菅野 敏仁

関東支部：水資源活用地域共生事業を利用した用水転用事業について：麻川 善行他

京都支部：農地海岸の養浜計画を立案するための数値予測法 One-Line モデルの検討：出馬 佳典他

中国四国支部：資源循環型社会に向けた汚泥肥料化施設の整備：松木 昭典

九州支部：伊江地下ダムの止水壁の施工について：佐伯和英他

講座：水土文化への誘い（その10）水土文化を活かす2：太田 勝也

小講座：自動定圧定流量分水栓：千葉 孝

私のビジョン：開発さん：高橋 周平

農業土木学会誌の愛称が「水土の知」となります！

農業土木学会誌編集委員会

学会誌編集委員会では、75巻1号より、学会誌の表紙に「水土の知」という題字を付し、装いも新たに学会誌を発行する運びとなりました。すでに、学会の名称も「農業農村工学会」に改称する（正式な改称時期は未定です）ことにもなっておりますことから、学会誌に愛称を付することは優れて時宜に適ったものであり、学会名の改称とともに、これらは80年に垂んとする永い歴史に培われてきた農業土木学会にとって、新たな飛躍への第一歩になるものと期待されます。また、愛称を使用することで、学会誌が会員諸氏にとってより身近で、より親しみやすいものになる

ことが期待されます。

ご承知の通り、「水土の知」という言葉は、平成14年に策定されました“農業土木の将来ビジョン”の中で示されたものです。農業土木が新たな展開を図る際の基本理念、さらには依拠すべきものの総体を的確に表現した言葉として、すでに、大方の会員諸氏においては周知のところですが、今後は、この言葉が、農業土木のネオ・パラダイムの原点を表象する寸言として、また農業土木を表す代名詞として広く内外に浸透し、定着していくことが望まれます。

第23回海外事情講演会 「中国の農村整備（村鎮建設）の現状と今後の展開」

日中農村整備交流

農業土木学会国際委員会

農業土木技術者継続教育プログラム認定申請中



海外事情講演会を下記の通り開催することといたしました。会員各位のご参加をお待ちしております。

記

1. 趣旨

中国経済は目覚ましい発展を遂げている一方で、都市部と農村部或いは沿岸部と内陸部の経済格差が深刻な問題になっている状況は周知のことと思われれます。一方、人口は2006年6月末現在で13億756万人、農村部だけでも9億5千万人以上いわれています。

また、2020年までにGDPを2000年の4倍増とする目標を設定し、経済発展を最優先しつつ、都市・農村間の経済格差是正、農民の社会保障制度改善といった問題に重点的に取組み、社会全体の調和のとれた発展を実現することを目指しています。

（財）日本水土総合研究所と中国建設部は1990年度に両国の農村整備に関する技術交流を開始し、今年度で交流16年目を迎えています。中国側の窓口である建設部村鎮建設弁公室は上述の目標を達成すべく、昨年行われた機構改革によって建設部内に新たに設立された組織であり、現在は農村のインフラ整備を中心とした「社会主義新農村建設」を全国的な規模で推進しています。

今般、中国建設部村鎮建設弁公室主任（局長級）を団長とする

一行が本交流事業で来日されることとなり、中国の農村整備に関する現状と展開方向について講演をいただくことになりました。

中国の農業・農村を取り巻く諸状況について情報交換を実施することは、今後の中国の農業・農村の発展のみならず、日本の農村整備の将来を考える上でも有意義であると考え、広く関係者に情報収集の場を提供いたします。

2. 主催：農業土木学会、農村計画学会、日本水土総合研究所

3. 日時：平成18年12月11日（月） 13:30～17:00

4. 会場：農業土木会館大会議室

5. 講演：中国側：李兵弟中国建設部村鎮建設弁公室主任

「社会主義新農村建設の現状と展開方向」（仮題）

日本側：仲家農林水産省農村振興局地域整備課長

「環境に配慮した農村整備に関する施策と展開方向」（仮題）

6. 定員：70名程度

7. 参加費：無料

8. その他：日中同時通訳あり

9. 申し込み・問合せ先（社）農業土木学会担当（菊辻）

電話 03 3436 3418 Fax 03 3435 8494

E-mail: tkiku@jsidre.or.jp

第1回産学連携推進セミナーへの参加募集

主催 社団法人 農業土木学会、後援 社団法人 土地改良建設協会、社団法人 農業土木事業協会

農業土木技術者継続教育プログラム認定申請中



グローバルな国際競争社会の中で、我が国が豊かな社会を維持していくためには、「知の時代」を迎えたことを踏まえ、知的な資源のネットワーク化が急務です。大学等等も、教育と研究等の学際的な活動に加えて、他の機関と連携し、共同研究や受託研究を

行うなど、国内外の各方面との多様な連携を推進し、新しい技術の創出に貢献する視点が必要となっています。農業土木学会は、関連する大学等の研究室と民間企業との情報交換等を仲介して、産学連携の推進を図るため、第1回産学連携推進セミナーを

下記の要領で開催することとしました。奮ってご参加願います。

1. 日時：2006年12月18日(月)10:00~18:30
2. 場所：農業土木会館6F大会議室
3. プログラム：
 - 10:00~12:00 プレセッション - 民間企業技術紹介 -
 - 13:00~16:00 産学連携セミナー
 - 競争的資金, 官民連携事業等の紹介
 - 産学連携の事例
 - 大学等による研究紹介
 - 16:00~17:00 ポスターセッション
 - 17:00~18:30 情報交換会
4. 募集する参加者：
 - 民間企業, 大学, 短大のほか, 行政機関, 研究機関などの関係者の参加を歓迎します。
5. 参加申込み締切：
 - 参加者：2006年11月30日(ただし, 先着100名に達した時点で締切ります)
6. 参加費：
 - 無料。ただし, 情報交換会に出席する人は会費1人3000円を当日徴収します。
7. 問合せ先：
 - (社)農業土木学会事務局 担当吉本峰子
 - 〒105 0004 東京都港区新橋5 34 4
 - ☎ 03 3436 3418, FAX 03 3435 8494
 - URL <http://www.jsidre.or.jp> E-mail mineko@jsidre.or.jp
8. その他
 - 内容の詳細及び各種参加申込書は学会ホームページ(上記)に掲載しております。

土地改良事業計画設計基準・設計「ポンプ場」の発行について

このたび、標記土地改良事業計画設計基準が改定され、発行されることとなりました。判型、ページ数、販価を下記のとおりです。ご希望の方は下記であら申込み下さい。なお、改定の趣旨は、本誌 pp.88~89 を参照下さい。

記

1. 土地改良事業計画設計基準・設計「ポンプ場」
 - A4判 約880ページ

- 定 価 8,500円(消費税内税, 送料学会負担)
- 2. 申込方法 郵便振替(00160 8 47993)または現金書留でお申込み下さい。
- 3. 申込先 〒105 0004 東京都港区新橋5 34 4
 - (社)農業土木学会事務局
 - ☎03 3436 3418 FAX03 3435 8494

農業土木学会災害対応調査団専門別調査団員登録についてお願い

農業土木学会災害対応特別委員会

農業土木学会では、近年における地震、豪雨等による災害が各地に発生し、農地・農業用施設等に甚大な被害をもたらしている状況に鑑み、それら災害の原因究明、復旧対策工法の採用等に対する支援を行う組織として、災害対応特別委員会を設置しています。

この災害対応特別委員会では、農地・農業用施設に甚大な被害が発生した自然災害、学術的見地から緊急調査が必要と判断される自然災害に対して、災害発生後、直ちに災害対応調査団を派遣し、調査の実施、復旧支援を行う体制を整備しています。

そこで、災害対応調査団を組織しなければならない事態が生じた時に、早急に対応できるよう、調査団のメンバーを希望される方に事前に登録の申請をお願いします。審査の結果、登録された会員は、災害対応調査団候補者名簿(2年毎更新)に記載して、緊急災害等の場合に現地調査を行って頂きます。

なお、災害対応調査団の団員の資格および派遣の条件は以下のとおりです。

調査団の団員は、高度な専門知識を有する農業土木学会員とする。

調査団員は、候補者名簿にリストアップされた者から選定する。

調査団の派遣期間は、原則2~3日とする。

調査団派遣に関わる旅費は、農業土木学会が後日精算する(年度予算限度額300万円)。

調査団員に対して、調査に必要と考えられる保険を掛ける。

調査団は、調査結果を速やかに報告する。

上記の趣旨をご理解のうえ、学会事務局宛 FAX 03 3435 8494, E-mail saigai@jsidre.or.jp でお申込み下さい。様式は農業土木学会ホームページ(<http://www.jsidre.or.jp>)よりダウンロードし、お申込下さい。多数の応募をお待ちしております。

なお、登録頂いた個人情報、災害対応調査にのみ活用し、適切に取扱います。

学会誌掲載報文等による通信教育の本格運用について

農業土木学会行事企画委員会
農業土木技術者継続教育機構通信教育部会

通信教育の試行を平成18年10月まで延長することとしておりましたが、11月より本格運用することといたしました。是非、通信教育にご参加下さい。

1. 参加会員の募集

参加をご希望の学会会員で、かつCPD機構会員の方は、農業土木学会のホームページ (<http://www.jsidre.or.jp>) にある参加申込書に必要事項を記載してメール (E-mail: cpd@cpd.jsidre.or.jp) あるいは FAX (03 5777 2099) でお送り下さい。

これまで試行に参加いただいていた方は、改めてお申込まないでください。

なお、この機会に農業土木学会、継続教育機構への入会を希望される方は、同様にホームページ (<http://www.jsidre.or.jp>, <http://www.jsidre.or.jp/cpd>) に申込様式がありますので、ご記入の上お申し込みください。

2. 申込期限

参加は、いつからでも可能です。

3. 事務局

事務局は、機構の評価委員会内部に設置する部会および機構事務局が担います。

4. 内容

問題は3カ月前の学会誌の報文等から、機構通信教育部会が作成し掲載します。

問題は択一式で、毎回10問出題します。報文の事実的内容から作成し、回答はメールで機構に返信していただきます。

採点の結果、7割正解で1CPD、満点で1.5CPDが与えられ、継続教育記録として機構会員に自動的に登録されます。

回答は技術者倫理に則り、自らの責任において作成していただきます。

5. 参加費

学会会員のための行事の一環として実施するため、学会が必要経費を負担しますので、当分の間、通信教育参加費は無料です。

国際学会「国際水田・水環境工学会」入会のお願いと 国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」について

農業土木学会では、2003年1月に日本、韓国、台湾を中心としたアジアモンスーン地域の農業土木関連学・協会および各国国際機関等と連携して、新たな国際学会「国際水田・水環境工学会」(International Society of Paddy and Water Environment Engineering: PAWEES) を設立、機関誌として国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」を創刊、2006年3月末には Vol. 4 No. 1 (Special issue: Challenges and Opportunities for Sustainable Rice based Production Systems) が発行されました。

本ジャーナルは、モンスーンアジア諸国の水田農業工学に関する研究論文、技術論文が多数掲載されますので、研究者のみならず、各種事業に携わる技術者にとっても貴重な学術情報誌です。たくさんの方が国際学会へ入会されることを望みます。

掲載論文の分野は、次のように幅広い内容となっています。

- ① 灌漑 (水配分管理, 水収支, 灌漑施設, 栽培管理)
- ② 排水 (排水管理, 排水施設)
- ③ 土壌保全 (土壌改良, 土壌物理)
- ④ 水資源保全 (水源開発, 水文)
- ⑤ 水田の多面的機能 (洪水調節, 地下水涵養など)
- ⑥ 生態系の保全 (水生, 陸生動物植物の生態系)

- ⑦ 地域計画 (農村計画, 土地利用計画など)
 - ⑧ バイオ環境システム (水田農業と水環境, 土壌環境, 気象環境)
 - ⑨ 水田の多目的利用 (田畑転換, 施設園芸)
 - ⑩ 農業政策 (農村振興, 条件不利地の支援策など)
- 水田農業を通じた国際的な研究交流、情報交換の場として、皆様の国際学会への入会をお勧めします。

国際学会に入会されますと、会員には国際ジャーナルが、無料で配布されます。

出版社: Springer-Verlag 社 (ドイツ)

発刊スケジュール: 2003年3月創刊、以後3カ月ごと

国際学会会費: 正会員 12,000円/年/4冊 (送料等学会負担)

学生会員 (院生含む) 8,500円/年/4冊 (送料等学会負担)

申込先: 農業土木学会編集出版部 馬目宛

ホームページ: <http://www.jsidre.or.jp>

入会のお申込みは、学会 HP (<http://www.jsidre.or.jp/publ/ij/scope.htm>) の「5. APPLICATION FORM FOR THE REGULAR MEMBER」にご記入のうえ、メールまたは FAX でお申込みいただけます。

国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」への投稿のお願いと 編集事務局（投稿先）の韓国移転のお知らせ

農業土木学会では、2003年1月に日本、韓国、台湾を中心としたアジアモンスーン地域の農業土木関連学・協会および各国際機関等と連携して、新たな国際学会「国際水田・水環境工学会」(International Society of Paddy and Water Environment Engineering)を設立し、機関誌として国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」を創刊、2006年3月末にはVol.4 No.1(Special issue: Challenges and Opportunities for Sustainable Rice based Production Systems)が発刊されました。

我が国においても学術誌の評価に、SCI(Science Citation Index)のIF(Impact Factor)が利用されており、本国際ジャーナルでもIFの取得により高い評価の定着を目指しています。

また、世界13カ国からEditor(14名)を選出することにより、国際ジャーナルとしての質を高める編集体制とし、さらに国際的な流通を考慮して、国際出版社として著名なSpringer Verlag社からの刊行です。

掲載論文は、Review, Article, Technical ReportおよびShort Communicationの4種類です。

投稿から掲載までの時間を短縮するとともに、SCI獲得のために年4回の発行としております。投稿者は国際学会員に限りますが、**投稿料、掲載料などを無料**として投稿者の負担を軽くするように配慮されています。

編集事務局の移転：2003年1月の学会設立以来、農業土木学会が編集事務局を担って参りましたが2006年1月1日からは新Editor in Chief;中野芳輔九州大学教授の下、韓国農業工学会が今後3年間(～2008年12月31日まで)、編集事務局を担当することとなりました。

これに伴い、Editorial Panelの構成メンバー(編集体制)および新投稿先が下記ようになります。

ただし2005年12月末までに投稿された原稿は、日本(農業土木学会)の責任において進められ、Acceptされたものが韓国事務局へ引き渡されることとなっております。

皆様方の多数の投稿を期待しております。

新投稿先：PWE Chief Managing Editor, Dr. Soon-Jin HWANG
International Society of Paddy and Water Environment Engineering (PAWEES)
KOFST - Main Building # 205

635-4 Yeoksam-Dong, Kangnam-Gu, Seoul 135-703, Korea.
Tel : +82 2 562 3627, 562 3613 Fax : +82 2 565 6821
Email : sjhwang@konkuk.ac.kr, pawees@ksae.re.kr(will be made shortly)

(During Jan.2006 to Dec.2008)

編集方針：水田農業における土地と水と環境に関する科学と技術の発展への貢献を目的としている。

その分野は、水田農業地帯における灌漑と排水、土壌保全、土地資源や水資源の保全と管理、水田の多面的機能、農業政策、地域計画、バイオ環境システム、生態系の保全、水田保全、田畑輪換等である。

編集体制 2006.1.1～2008.12.31)

• Editor in Chief : Prof. Dr. Yoshisuke Nakano (Japan)
The Graduate School of Bioresource and Bioenvironment Sciences, Kyushu University, Japan

• Editors 13カ国から14名

• Editing Board 32名

• Managing Editors

Chief Managing Editor : Dr. Soon-Jin HWANG

Department of Environmental Science, Konkuk University, Seoul, Korea

Dr. Yutaka MATSUNO

Faculty of Agriculture, Kinki University, Nara, Japan

Dr. Masaru MIZOGUCHI

Department of Global Agricultural Science, University of Tokyo, Tokyo, Japan

Prof. Dr. Tsugihiko WATANABE

Research Institute for Humanity and Nature (RIHN), Kyoto, Japan

Prof. Dr. Ke-Sheng CHENG

Department of Bioenvironmental System Engineering, National Taiwan University, Taipei, Taiwan, Rep. of China

出版社：Springer Verlag社(ドイツ)

投稿資格：筆者全員が国際学会員であること。

投稿要領等：http://www.jsidre.or.jpに詳細を記載しています。

農業土木学会誌への投稿お待ちしております！

農業土木学会誌編集委員会

自主投稿原稿の募集

小特集以外の自主投稿も歓迎いたします。現在、掲載待ちの報文はなくなり、閲読が終了すれば、早期に掲載できる状況となりました。投稿の際には、農業土木学会ホームページに掲載の「農業土木学会誌投稿要項」、「農業土木学会誌原稿執筆の手引き」を熟読の上、ご投稿ください。

学会誌 75 巻の小特集のテーマ

小 特 集 テ ー マ	要 旨 締 切 (A4判 1,500字以内)	原 稿 締 切 (刷り上げ 4ページ厳守)
74巻 12号 北海道における大規模畑地整備(仮)	公募なし	
75巻 1号 「水土の知」について(仮)	公募なし	
2号 国営第1号巨椋池干拓の歴史的意義	公募なし	
3号 新潟県中越地震の復興対策と危機管理()(仮)	公募終了	
4号 " ()(仮)	公募終了	平成18年12月15日
5号		
6号 大会関連	公募なし	平成19年2月15日
7号		
8号 農地・水・環境保全向上対策に向けて(仮)		平成19年4月13日
9号 農地からの土壌流出及びその対策について(仮)		平成19年5月15日

今後取上げてほしい小特集のテーマについても、広く募集いたします。なお、小特集テーマが仮題となっているものは、予告なく変更することがございます。

採用された原稿の分量は、刷り上げ4ページとなっておりますので、ご執筆の際には厳守いただきますよう、お願いいたします。

送付先 〒105 0004 東京都港区新橋5-34-4 (社)農業土木学会 学会誌編集委員会あて

☎03 3436 3418 FAX 03 3435 8494 E-mail henshu@jsidre.or.jp

「オフィス便り」・「キャンパス便り」・「私の勤める本」の原稿を募集しています！

学会誌には、会員の職場や学校を紹介するコーナーとして、「オフィス便り」・「キャンパス便り」・「私の勤める本」を設け、随時募集しております。多くの会員が身近な情報を提供することにより、学会誌を親しみやすいものにするとともに、気軽に投稿できるコーナーとして活用していただきたいと考えております。

内容は、学会誌としての特徴を持ちつつ、他の機関誌とは違ったもので、できるだけ学会に関係のある内容、たとえば、

オフィス便りは、「事業実施において特色ある技術の導入」・「技術的に工夫した点」や「地域の魅力」、「技術者継続教育」・「技術

力の向上」・「技術者倫理」など。

キャンパス便りは、「研究室の研究内容」・「学科紹介」など。

上記の内容を中心に、より広く事業や地域、また大学や研究室の紹介、その他の取組み状況を含めて、職場、学校として特徴のあるものを募集しています。奮ってご投稿ください。

原稿の長さは、刷り上げ1ページ(1,800字程度)で、写真を1~2枚程度入れてください。

私の勤める本は、原稿の長さ:1,200字(写真・体裁等含む刷り上げ1ページ以内原稿には表紙の写真を含めて下さい)

農業土木学会北海道支部第33回研修会の開催について(第3報)

農業土木技術者継続教育プログラム認定申請中



1. 期日:平成18年11月22日(水)9:30~17:00(予定)

2. 会場:札幌市・北海道大学学術交流会館

(札幌市北区北8条西5丁目・北大正門側)

3. テーマ:農業水利施設の機能診断,長寿命化と維持補修技術

4. プログラム:9:30 開会

1. 基調講演 農業水利施設の機能診断,長寿命化と維持補修技術

京都大学大学院農学研究科 青山咸康

2. 機能診断技術の現状

三祐コンサルタンツ アセットマネジメント部 安達睦夫

3. コンクリート構造物の補修技術

島根大学生物資源科学部地域開発科学科 長束 勇

4. 寒冷地におけるコンクリート構造物の劣化について

土木研究所寒地土木研究所耐寒材料チーム 嶋田久俊

5. 寒冷地での試験施工の事例について

岩手県盛岡地方振興局農政部農村整備室農村計画課

下平暢樹

6. 積雪寒冷地の水利施設の維持補修技術の課題について

土木研究所寒地土木研究所水利基盤チーム 田頭秀和

5. 参加申込

下記様式により、メール、FAX または郵送にてお申込下さい。

所属機関

同上所在地

申込代表者

TEL

氏名	所属	備考

6. 参加申込先

〒060 8589 北海道大学農学部農業工学科内

農業土木学会北海道支部事務局

担当：柏木淳一 E-mail:kashi@env.agr.hokudai.ac.jp

☎011 706 3641 FAX 011 706 4145

7. 参加費用

研修会参加費 3,000円(当日会場にて申し受けます。)

農業土木学会北海道支部講習会の開催について(第1報)

農業土木技術者継続教育プログラム認定申請中



1. 期日：平成19年2月1日(木)

プログラム等については、続報にてお知らせします。

2. 会場：札幌市・北海道大学学术交流会館

(札幌市北区北8条西5丁目・北大正門側)

4. 問い合わせ先

〒060 8589 北海道大学農学部農業工学科内

農業土木学会北海道支部事務局

担当：柏木淳一 E-mail:kashi@env.agr.hokudai.ac.jp

☎011 706 3641 FAX 011 706 4145

3. テーマ：『『環境との調和に配慮した事業実施のための調査計画・設計の技術指針』の解説』、および『『農業農村整備事業における景観配慮の手引き』の解説』を予定。講演題目、講演者、

平成18年度農業土木学会京都支部研修会・地方講習会の開催について

農業土木技術者継続教育プログラム認定申請中



1. 日時

(1) 支部研修会：平成19年2月1日(木) 14:00~17:15

(2) 地方講習会：平成19年2月2日(金) 10:00~15:10

10:10~11:10 基調講演(未定)

11:10~12:00 講習1(未定)

12:00~13:00 [昼食]

13:00~14:00 講習2(未定)

14:00~15:00 講習3(未定)

15:00~15:10 閉会挨拶 北陸農政局整備部設計課長

2. 場所

石川県文教会館大ホール

〒920 0918 石川県金沢市尾山町10-5(5076 262 7311)

3. プログラム 未定部分については、学会誌12号に掲載。

<2月1日(木)支部研修会>

13:00~ 受付

14:00~14:10 閉会挨拶

京都支部長(岐阜大学応用生物科学部教授) 天谷 孝夫

14:10~15:10 土地改良事業計画設計基準・設計「ポンプ場」改定の解説

農林水産省農村振興局設計課設計基準班(未定)

15:10~16:10 農業農村整備事業におけるアスベスト(石綿)対応マニュアルの解説

農林水産省農村振興局設計課施工基準班(未定)

16:10~17:10 環境との調和に配慮した事業実施のための調査計画・設計の技術指針の解説

農林水産省農村振興局事業計画課環境計画班(未定)

17:10~17:15 閉会挨拶

<2月2日(金)地方講習会>

9:30~ 受付

10:00~10:10 閉会挨拶

北陸農政局整備部長

・設計VEの実施プロセスの説明、事例紹介
・環境に配慮した設計事例やその維持管理の実践事例の紹介等を予定。

4. 参加費 4,000円

5. 申込方法

(1) 申込期限 平成18年12月22日(金)

(2) 参加費納入方法

参加申込と同時に指定の銀行口座に全額前納して下さい。

なお、振込後の取り消しについては、参加費の返還ができませんのでご注意ください。

振込手数料については、振込人負担をお願いします。

【振込先】銀行名 北国銀行 香林坊支店

口座番号 普通 275554

口座名 農業土木学会京都支部金沢事務局 吉田 弘明

(3) 申込様式

平成18年度農業土木学会京都支部研修会・地方講習会参加申込書

所属機関

所在地

電話番号

FAX 番号

連絡者名

所 属	氏 名	CPD 会員番号

合計 名 × 4,000 円 = 円

農業土木技術者継続教育機構会員 (CPD) の方は、会員番号を記入して下さい。

(4) 参加申込先

北陸農政局整備部設計課 (酒井, 吉田, 内田)

〒920 8566 石川県金沢市広坂 2 2 60

5076 263 2161 FAX 076 234 8051

E-mail: atsushi_uchida@hokuriku.maff.go.jp

6. 宿泊・昼食

宿泊・昼食の斡旋・手配は行いませんので、各自で申込等対応願います。

7. 交通アクセス案内

車での来場は御遠慮願います。

平成 18 年度農業水利研究部会研究集会開催のご案内 (第 2 報)

農業水利研究部会

農業土木技術者継続教育プログラム認定申請中



当部会では、平成 18 年度研究集会を下記の通り実施いたしますことになりましたので、ここにご案内いたします。

記

1. 日 時: 平成 18 年 12 月 9 日 (土) 13 時 ~ 16 時
2. 場 所: 日本航空協会 航空会館会議室 504 会議室
〒105 0004 東京都港区新橋 1 18 1 航空会館
(TEL 03 3501 1272)
3. テーマ: 「農業用水及び環境用水の冬季通水と農業・農村環境」
4. 講演題目
「仙台市六郷堀・七郷堀における環境用水の冬季通水と農村環境」
仙台東土地改良区 事業課長 木村勇治氏

「愛知県枝下用水地区での冬季代かき直播栽培と環境配慮型水管理技術」

農事組合法人 中甲 (愛知県豊田市) 代表 細江喜重 氏

5. 参加料: 無料
6. 問合せおよび参加申込先:
東京農業大学地域環境科学部生産環境工学科地域資源利用学
研究室内
農業土木学会農業水利研究部会事務局 (中村好男)
☎03 5477 2337 FAX 03 5477 2620
E-mail: nyoshi@nodai.ac.jp
(11 月末までに申込をお願いいたします。当日直接参加でも結構です)

第 44 回材料施工研究部会シンポジウムの開催について (第 1 報)

材料施工研究部会

農業土木技術者継続教育プログラム認定申請中



1. 主 催 農業土木学会材料施工研究部会
2. テーマ 土地改良施設の非破壊検査・調査と試験
3. 講 師 農林水産省・研究所・大学・民間の研究者及び技術者 (予定)
4. 期 日 平成 19 年 2 月 2 日 (金) 9:50 ~ 17:00
5. 会 場 兵庫県民会館大ホール (220 席)
〒650 0011 神戸市中央区下山手通 4 16 3
☎078 321 2131 FAX 078 321 213
<http://hyogo-arts.or.jp/arts/kai.htm>
6. 参加費 4,000 円 当日受付で徴収させていただきます。
7. 申 込 参加者氏名, 所属機関名, 所在地住所,
TEL, FAX, E-mail, 弁当 (代金 ¥1000) 希望の有・
8. 申込先 無, をお書きの上, FAX もしくは E-mail にてお申し込み 下さい。また, 表題として, 「材料施工研究部会シンポジウムの参加」と明記し して下さい。
9. 申込先 〒657 8501 神戸市灘区六甲台町 1 1
神戸大学農学部気付 材料施工研究部会事務局
申込担当: 井上 一哉
TEL&FAX: 078 803 5853
E-mail: mornel@kobe-u.ac.jp
9. 申込締切 平成 19 年 1 月 19 日 (金)
10. 宿 泊 各自で手配下さい。
11. 問合せ先 申込先と同じです。
12. その他 詳細は学会誌次号に掲載予定です。